

2026年1月15日

国立大学法人 熊本大学

総合メディカルグループ株式会社

＜調印式・記者説明会のご案内＞

日本の医療は、「人」から変わる

熊本大学×総合メディカルが挑む、医療人材アップデートと地域医療の再設計

この度、国立大学法人熊本大学（本部：熊本県熊本市、学長：小川久雄）と総合メディカルグループ株式会社（本社：東京都千代田区／福岡県福岡市、代表取締役社長 多田 荘一郎）は、地域医療の質向上と持続可能な医療提供体制の構築を目的とした包括的連携協定を締結いたしました。つきましては、2月4日（水）11:30から、熊本大学にて記者説明会を開催する運びとなりましたのでご案内させていただきます。

日本の医療は今、制度や設備の限界ではなく、「人材のアップデート」という見えにくい構造的ボトルネックに直面しています。高齢化の進行により、循環器疾患やがん、慢性疾患を抱えながら地域や在宅で療養する患者さんが急増する一方、病院・診療所・薬局・在宅を横断して患者さんを支える人材育成や多職種連携の仕組みは、十分に追いついていません。

これまで日本の医療は「病院完結型」を前提に高度化してきましたが、今後は退院後支援や療養先の選択、在宅を含めた継続的な医療・ケアをいかに切れ目なく提供できるかが問われています。この転換期において最大の鍵を握るのが、職種ごとの役割を再定義しながら連携する「人」の問題です。

こうした構造的課題に正面から向き合うため、熊本大学と総合メディカルグループは、地域医療の質向上と持続可能な医療提供体制の構築を目的とした包括的連携協定を締結しました。

熊本大学が担ってきた高度医療・研究の知見と、総合メディカルグループが地域の診療所・薬局・在宅医療を通じて培ってきた現場力を掛け合わせ、理念にとどまらない実装型の地域医療モデルの構築を目指します。

本協定では、循環器疾患およびがん領域を起点に、薬剤師をはじめとする医療人材の育成・リカレント教育と多職種連携を中心、退院後の服薬支援や在宅療養支援を含む、病院から地域・在宅まで切れ目なく患者さんを支える仕組みの検証と実装に取り組みます。

産学連携が形式化しがちな今だからこそ、「人材の変革」を起点に医療の現場をアップデートし、熊本から日本の地域医療が直面する課題に対する実践的な解決策を提示していきます。

本協定締結にあたり、下記のとおり調印式および記者説明会を開催いたします。ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、ぜひご取材賜りますようご案内申し上げます。

＜調印式・記者説明会 実施概要＞

■ 日時

2026年2月4日（水）11:30～12:15（受付開始 11:15）

※11:00までは熊本大学定例学長記者懇談会が行われております。終了後に開始いたします。

■ 参加方法

現地参加（熊本大学）または、オンライン（Zoom）

■ 会場

熊本大学 本部棟 1 階 大会議室（熊本市中央区黒髪 2 丁目 39 番 1 号）

■ 登壇者（予定）

・国立大学法人熊本大学 学長 小川 久雄

・総合メディカルグループ株式会社 代表取締役社長 多田 荘一郎

当日のプログラム（予定）

11:30～11:40 包括的連携協定 調印式

11:40～12:15 記者説明会

・主催者あいさつ、登壇者紹介

・包括的連携協定の概要説明（連携の背景、目的、今後の取り組みについて）

・質疑応答

・フォトセッション

＜取材申し込み＞

取材をご希望の方は、2026年2月2日（月）正午までに、以下よりお申し込みください。

■ 申し込みフォーム

<https://forms.gle/7GKEFDpRjzMhz3ks5>



申し込みフォーム

RQ コード

※本案内状に記載の内容は、現時点での予定であり、当日までに変更となる可能性があります。

あらかじめご了承ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

総合メディカル株式会社 広報グループ

TEL : 03-5255-6550 E-mail: koho-ir@sogo-medical.co.jp